

2020年10月6日

学 生 各 位

学 長

学長から学生諸君へ

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的に未だ終息する気配を見せていません。名古屋工業大学における教育や学生生活にも多大な影響を及ぼし、昨年までの日常を未だに取り戻せない状況が続いています。特に1年生の皆様は、晴れて入学した名古屋工業大学にほとんど足を踏み入れる機会が無い状況が続いており、大変に残念に思っています。

本学では、緊急事態宣言発出下においても大学の使命である教育活動を継続的に実施するという観点から、2020年度前期はオンデマンド型オンライン授業を原則としつつ、演習や実験など実践が必要な授業、あるいは厳正な成績評価を行うための定期試験については、部分的に対面式で実施するという方針を進めてまいりました。その結果、学生並びに教職員の皆様の御協力・御努力のおかげをもちまして、学内において感染が拡大することもなく前期の授業日程を終了することができましたことに厚く御礼申し上げます。

前期中に実施した学生アンケートで、オンライン授業の課題も明らかになっており、皆様からは数多くの御意見・御要望をいただきました。コロナ感染のリスクの恐怖も数多く寄せられる一方、キャンパスで友人とともに授業を受けたいという切実な声が寄せられています。しかし、現時点ですべての授業の実施形態を対面式に戻すことは、学生間の距離を十分取るための広い講義室の確保が困難であること、食堂などの学内施設で学生が密になる状況が予想されることを踏まえると、リスクが高いと考えています。

以上を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の再拡大が起きるか見通せない中、これまでと同様に学生の皆さんの安全を確保しながら教育活動を継続して行うため、以下を実施方針といたします。

- ・ 講義科目はオンデマンド型オンライン授業で行うことを原則とするが、学生が登校する機会を確保し、学生同士の交流が定期的に行えるよう、一部の講義科目については対面式での授業も併用して実施する。また、演習・実験・実習科目や定期試験などでは、対面式での授業も併用して実施する。
- ・ 特に一年生においては、今後の勉学の基礎となる科目のうち、高い教育効果が期待できる科目において、対面式の授業を実施する。
- ・ 対面式での授業は、学生間の距離を保てるよう広い講義室を確保し、感染防止対策を徹底しながら実施する。

学生の皆様におかれましては、日々の検温を行うなど体調管理に日頃から留意し、三密を避けた行動を取るとともに、学内では石鹸やアルコールによる手指消毒を行い、授業中はマスクやフェースシールドを着用する等、感染予防の意識を常に強く持って受講することをお願いいたします。

ウイズコロナの時代においても、学生の皆様が学業に専念できるよう、名古屋工業大学の教職員は全力で支援していきます。